

平成27年度 事業別予算概要

事業名	91100	教育委員会運営費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約
	款			9	教育費	基本分野		3	教育・文化	実施計画事業			
担当課	教育委員会事務局 教育総務課		内線	項	1	教育総務費	施策概要	分野	1	学校教育	H27実施計画額	千円	
	2342			目	1	教育委員会費		4	学びのセーフティネットの構築				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・教育行政全般の推進 ・教育委員会活動・教育振興基本計画の推進	概要	事業の実施手法(手段)	・教育委員会の運営
	対象者数	91,605 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績		・教育委員会の開催 定例会12回、臨時会4回 ・教育委員会規則等の議決 29件						
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
				目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	・評価対象外の為該当なし。
--------------------------	---------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況		・評価対象外の為該当なし。
次年度の実施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・教育委員会制度改革に適切に対応する。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・引き続き適正な運営に努める必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	3,699	3,514	3,901	4,288
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	40	38	43	47
	受益者	全市民	(B)	92,861	92,097	91,605	91,605

5 予算編成(Action2)

事業内容	教育委員の活動及び委員会運営	要求のポイント	事業実施の課題
------	----------------	---------	---------

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		3,901	4,288	387	4,154	4,154	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	3,901	4,288	387	4,154	4,154		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	91220	高等教育等支援事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約		
種別				款	9	教育費		基本分野	3	教育・文化	実施計画事業	高等教育等支援事業			
担当課	教育委員会事務局 教育総務課			内線	2342	項		1	教育総務費	分野	1	学校教育		H27実施計画額	千円
				目	2	事務局費		施策概要	4	学びのセーフティネットの構築					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高等教育機関等に通う生徒	どうしたいのか(意図)	概要	事業の実施手法(手段)
	対象者数	1,079 人			

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	【私学振興補助金】・高山短期大学	940,000円(市内 126人、市外 155人)						
	・高山西高等学校	1,467,000円(市内 532人、市外 137人)						
	【高校通信教育補助金】	250,000円(87人)						
	【定時制高校教育補助金】	0円(42人)						
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	成果指標	私立学校生徒数	人	目標値	930	930	950	980
				実績(見込)	929	930	959	
		算出根拠等		達成率(%)	100	100	101	
	成果指標	通信制・定時制高校生生徒数	人	目標値	141	129	200	200
				実績(見込)	141	129	142	
		算出根拠等		達成率(%)	100	100	71	
	成果指標			目標値				
				実績(見込)				
		算出根拠等		達成率(%)				
	成果指標			目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)					
成果指標			目標値					
			実績(見込)					
	算出根拠等		達成率(%)					
補足			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	・少子化により18歳人口が減少する中、経営の安定化に十分な効果を及ぼすため、制度設計を見直した。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	・事業効果をより高めるため、高山短期大学への助成対象を、在籍人数ではなく、学生募集のための経費とした。今後効果を検証していく。	
次年度の実施方針	○維持・改善	・今回の制度改正による事業の効果について検討を行う。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	2,666	2,657	7,000	7,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	2,492	2,509	6,358	5,932
	受益者	高等教育機関等に通う生徒	(B)	1,070	1,059	1,101

5 予算編成(Action2)

事業内容	市内高等教育機関及び高等学校等に対する教育助成	要求のポイント	事業実施の課題
------	-------------------------	---------	---------

事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	7,000	7,000	0	7,000	7,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	7,000	7,000	0	7,000	7,000		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	91230	幼児教育支援事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	教育振興基本計画		市長公約
	種別			9	教育費	3		教育・文化	実施計画事業		幼児教育支援事業		
担当課	教育委員会事務局 教育総務課		内線	項	1	教育総務費	分野	1	学校教育	H27実施計画額	千円		
	2342			目	2	事務局費		4	学びのセーフティネットの構築				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰が(対象)	私立幼稚園(高山短大附属幼稚園・美鳩幼稚園・高山幼稚園)	どうしたいのか(意図)	・幼児教育を受けやすい環境を整えることにより、教育の機会均等を図る。 ・少子化により私立幼稚園の経営困難が続く中、幼稚園の運営を安定化させ、幼児教育環境を維持する。	概要	事業の実施手法(手段)	・市内にある私立幼稚園3園に対し、通園児1人あたり年額3,000円の運営助成を行い、教育環境の整備を行う。 ・園児の保護者に対して保育料・入園料の助成を行っている私立幼稚園に対して補助金を交付し、保護者負担の軽減を図る。
	対象者数	550人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	【私立幼稚園就園奨励費補助金】		【私立幼稚園運営費補助金】					
	・高山短大附属幼稚園	24,876,770円(198人)	・高山幼稚園	639,000円(213人)	・美鳩幼稚園	618,000円(206人)	・高山幼稚園	13,880,530円(121人)
成果面	成果指標	就園奨励費補助対象園児数	人	目標値	470	490	490	490
		算出根拠等		実績(見込)	511	515	491	
	成果指標	市内在住園児数	人	目標値	530	533	550	550
		算出根拠等		実績(見込)	526	540	544	
	算出根拠等			達成率(%)	109	105	100	
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	・事業実施における課題はない。
--------------------------	-----------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	・引き続き事業を進める。	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	引き続き事業を進める。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	新たな子育て制度や保育園の保育料軽減と合わせて検討する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	61,387	63,687	69,650	69,650
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	116,705	117,939	126,636	126,636
	受益者 対象園児数	(B)	526	540	550	550

5 予算編成(Action2)

事業内容	【就園奨励費補助金】 ・国の基準に基づき市民税所得割課税額の段階に応じて保育料等を助成する 【私立幼稚園運営費補助金】 ・市内にある私立幼稚園3園に対し、市内通園児1人あたり年額3,000円の運営助成を行い、教育環境の整備を行う。	要求のポイント	低所得世帯の私立幼稚園児について、保育料及び入園料を助成することにより就園の奨励と幼稚園の健全な育成を図る 保育園と同様の保育料軽減を実施	事業実施の課題
------	--	---------	--	---------

事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	69,650	69,650	0	69,650	69,650	・要求どおり ・財務部査定のとおり	
財源内訳	国庫支出金	21,300	21,300	0	21,300		
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	48,350	48,350	0	48,350			

平成27年度 事業別予算概要

事業名	91260	教員住宅管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約		
種別				款	9	教育費		基本分野	3	教育・文化	実施計画事業	教員住宅管理事業			
担当課	教育委員会事務局 教育総務課			内線	2348	項		1	教育総務費	分野	1	学校教育		H27実施計画額	千円
				目	2	事務局費		施策概要	4	学びのセーフティネットの構築					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市内小中学校教職員	どうしたいのか(意図)	郊外の小中学校に在勤する教職員に対し、赴任地で安価で快適な住居を提供し、教職員の良好な生活環境を保全する。	概要	事業の実施手法(手段)	入居ノ退去希望者の入退去手続き、家賃収納事務、住宅の損傷に対する迅速な修繕を実施する。
	対象者数	123 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	<ul style="list-style-type: none"> ・3か所の耐震診断を実施した。 ・住宅の損傷に対して迅速な修繕を実施した。 ・家賃収納事務について、複数月分を前納できるようにして、入居者の利便性の向上を図った。 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	維持管理する住宅戸数	戸	目標値	34	34	34	23
				実績(見込)	34	34	34	
				達成率(%)	100	100	100	
	成果指標	入居者数	人	目標値	21	21	21	21
				実績(見込)	21	20	23	
				達成率(%)	100	95	110	
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
		達成率(%)						
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	・住宅ニーズのある地域の特定。
--------------------------	-----------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	・平成25年に実施した耐震診断の結果を踏まえ、耐震対策を行う。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	・教員住宅の必要性がある地域において、安全で良好な住宅環境を提供する。
	拡大	
	縮小	
	○ 廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	○ 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	676	3,056	700	6,317
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	32,190	152,800	33,333	300,810
	受益者	入居者数	(B)	21	20	21	21

5 予算編成(Action2)

事業内容	教職員住宅の管理、軽微な修繕 本郷学校教職員住宅の改修設計	要求のポイント	本郷学校教職員住宅の改修設計業務委託	事業実施の課題	本郷教職員住宅は、耐震性が高い建物であるが、建設後40年以上経過しているため、長寿命化を図るための改修を行う。
------	----------------------------------	---------	--------------------	---------	---

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		700	6,317	5,617	5,700	5,700	・積算内容を精査 ・本郷学校教職員住宅の改修費を計上	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	700	1,798	1,098	700	700		
	一般財源	0	4,519	4,519	5,000	5,000		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	91270	教育委員会事務局運営事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約
	種別			9	教育費	3		教育・文化	実施計画事業			
担当課	教育委員会事務局 教育総務課		内線	項	1	教育総務費	分野	1	学校教育	H27実施計画額	千円	
	2360			目	2	事務局費		4	学びのセーフティネットの構築			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	小中学校児童生徒	どうしたいのか(意図)	・教育行政全般の運営に係る事業の推進	概要	事業の実施手法(手段)	・教育行政全般の運営に係る事業の継続及び推進
	対象者数	7,910 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績		・教育委員会点検評価委員会議、高山市教育振興会議の開催					
成果面	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
			目標値				
	算出根拠等	実績(見込)					
		達成率(%)					
	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
			目標値				
	算出根拠等	実績(見込)					
		達成率(%)					
	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
			目標値				
	算出根拠等	実績(見込)					
		達成率(%)					
指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27	
		目標値					
算出根拠等	実績(見込)						
	達成率(%)						
指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27	
		目標値					
算出根拠等	実績(見込)						
	達成率(%)						
補足							

3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	・評価対象外のため該当なし
--------------------------	---------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	・評価対象外のため該当なし	
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・教育委員会制度改革などに対応するなど、適正に事務事業を推進する。
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・引き続き適正な事務の執行に努める必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	1,402	2,124	3,516	4,605
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	172	264	445	593
	受益者	小中学校児童生徒	(B)	8,162	8,047	7,910	7,771

5 予算編成(Action2)

事業内容	教育行政全般の運営にかかる事業の推進 小・中学校通学審議会、高山市教育委員会点検評価委員会、高山市教育振興会議の開催	要求のポイント	事業実施の課題
------	---	---------	---------

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		3,516	4,605	1,089	3,492	3,492	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	1,500		△1,500	1,500	1,500		
	一般財源	2,016	4,605	2,589	1,992	1,992		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	91300	スクールバス管理事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	教育振興基本計画		市長公約
	種別			9	教育費	3		教育・文化	実施計画事業		スクールバス管理事業		
担当課	教育委員会事務局 教育総務課		内線	項	1	教育総務費	分野	1	学校教育	H27実施計画額	千円		
	2348			目	3	スクールバス管理費		4	学びのセーフティネットの構築				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰が(対象)	遠距離通学等児童・生徒及び市民	どうしたいのか(意図)	・計画的な車両管理により遠距離通学の児童、生徒の安全で安心な通学手段の確保を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・経年及び長距離の走行により老朽化したスクールバスの更新
	対象者数	91,605 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	スクールバス更新 2台(丹生川地域 ロッセ線、朝日地域 秋神線)								
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27	
	活動指標	スクールバス更新台数		台	目標値	1	2	2	2
		実績(見込)			1	2	2		
		算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
	活動指標	遠距離通学児童、生徒数		人	目標値	1,143	1,098	1,137	1,137
		実績(見込)			1,143	1,098	1,137		
		算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
	成果面				目標値				
		実績(見込)							
		算出根拠等			達成率(%)				
	成果面				目標値				
		実績(見込)							
算出根拠等			達成率(%)						
成果面				目標値					
	実績(見込)								
	算出根拠等			達成率(%)					
補足				目標値					
	実績(見込)								
	算出根拠等			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	・更新計画を基準とし、車両を計画台数どおりに更新する。また、老朽化した車両が多いため修繕費の確保が必要である。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	・更新計画にあわせ実施する。	
次年度の実施方針	<input type="radio"/> 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・遠距離通学児童・生徒の安全・安心なスクールバスの運行を確保する。
	<input type="radio"/> 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・スクールバス運行業務の委託化に向け検討する必要がある。 ・課外授業での利用のあり方について検討する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	43,879	50,617	53,754	64,874
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	473	550	587	708
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	92,861	92,097	91,605	91,605

5 予算編成(Action2)

事業内容	スクールバスの運行、維持管理、更新	要求のポイント	更新計画に基づく車両更新 土曜授業の試行に伴うバス運行の実施	事業実施の課題	計画的な修繕・整備の実施
------	-------------------	---------	-----------------------------------	---------	--------------

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		53,754	64,874	11,120	53,754	53,754	・車両は計画どおり2台更新 ・運行経費と維持管理費は積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金	5,000	5,140	140	5,140	5,140		
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	48,754	59,734	10,980	48,614	48,614		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	92100	小学校管理事業費	予 算	会計	1	一般会計	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	教育振興基本計画		市長公約
	款			9	教育費	基本分野		3	教育・文化		実施計画事業		
担当課	教育委員会事務局 教育総務課		内線	項	2	小学校費	分野	1	学校教育	H27実施計画額	千円		
	2360			目	1	学校管理費		施策概要	4		学びのセーフティネットの構築		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	小学校児童	どうしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設や環境衛生設備を適切に維持管理し、安全、安心で快適な教育環境を確保する。 児童の健診や学校の衛生管理等により教育環境を整備 児童が安全で安心して教育を受けることができる教育環境を創出するため、学校施設環境の保全を行う。 	概要	事業の実手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 小学校の運営及び学校設備の維持・管理 内科医・歯科医・薬剤師を委嘱し、児童の健康診断や健康管理、学校の衛生管理等を実施 学校設備、施設等の管理点検及び学校内外の防犯・防災点検を行う 学校の各種施設や設備の破損箇所の修繕及び学校備品や教材の製作等を行う
	対象者数	5,017 人					

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H25実績	<ul style="list-style-type: none"> 西小学校教室棟屋上防水改修、新宮小学校グラウンド排水路改修 児童の木製机・椅子購入 70セット 嘱託医による児童の健康診断の実施、嘱託医等から指導助言を受けながらの感染症・疾病予防に関する学校衛生管理の実施 学校用務職員による学校施設等の修繕 						
		指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	学校数	校	目標値	19	19	19	19
				実績(見込)	19	19	19	
		算出根拠等		達成率(%)	100	100	100	
	活動指標	児童数	人	目標値	5,329	5,164	5,017	4,922
				実績(見込)	5,329	5,164	5,017	
		算出根拠等		達成率(%)	100	100	100	
	活動指標	用務員配置数	人	目標値	25	25	25	25
				実績(見込)	25	25	25	
	算出根拠等		達成率(%)	100	100	100		
			目標値					
			実績(見込)					
	算出根拠等		達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
	算出根拠等		達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き学校維持管理の経費に対する省力化に向けた取り組みを進める。 修繕等を専門業者に安易に依頼せず、学校用務職員自らが施工するなど、学校施設の維持管理費の削減が図られている。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ、水道光熱費の節減に向けた取り組みを進める。 安全・安心な教育環境の確保のため内科医・歯科医・薬剤師を委嘱し、児童の健康診断や健康管理、学校の衛生管理等を実施している。 児童が安全で安心して学校生活を過ごすことができるよう、引き続き事業を進める。 	
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設や環境衛生設備を適切に維持管理し、安全、安心で快適な教育環境を確保できるように事業を進める。 児童の健診や学校の衛生管理等により教育環境を整備できるよう事業を進める。 児童が、安全で安心して学校生活を過ごすことができるよう、事業を進める。
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> 用務職員を活用した学校修繕を積極的に行う必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	185,712	195,828	195,114	240,044
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	34,849	37,922	38,891	48,770
	受益者	児童(5月1日現在)	(B)	5,329	5,164	5,017

5 予算編成(Action2)

事業内容	小学校の運営及び学校設備の維持・管理 児童の健康診断や健康管理、学校の衛生管理等を委託 学校施設の維持修繕など	要求のポイント	児童の木製机・椅子購入、放送設備の改修 学校用務職員で営繕作業を実施し、コストの縮減を図る。	事業実施の課題	老朽化した施設を計画的に修繕する必要がある。
------	---	---------	---	---------	------------------------

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		195,114	240,044	44,930	203,173	203,173	・積算内容を精査 ・施設整備は優先順位の高い箇所を実施	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	700	1,260	560	1,200	1,200		
	その他	800	1,320	520	800	800		
	一般財源	193,614	237,464	43,850	201,173	201,173		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	92310	小学校大規模改修事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約	高山市の次代を担う子どもたち(児童生徒)に対しては、一人ひとりの「個性・能力・創造性」を育むとともに、国際化に対応できる教育環境を整備します。	
種別				款	9	教育費		基本分野	3	教育・文化		実施計画事業			小中学校大規模改修事業
担当課	教育委員会事務局 教育総務課			項	2	小学校費		分野	1	学校教育					H27実施計画額
	2347			目	3	学校整備費		施策概要	4	学びのセーフティネットの構築					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰が(対象)	小学校児童、教職員及び一般市民	どうしたいのか(意図)	・安全で安心して学習ができ、指導できる教育環境を整えるとともに、社会教育及びスポーツの振興に資する施設、また災害時の避難所となる施設の整備	概要	事業の実施手法(手段)	・学校施設の改修
	対象者数	91,605 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績		・小学校屋内運動場非構造部材の補強 ・国府小学校北舎大規模改修工事設計監理委託業務						
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	耐震補強学校数	校	目標値	1	11	0	0
		実績(見込)	1	11	0			
	算出根拠等			達成率(%)	100	100		
	成果指標	学校耐震化率	%	目標値	100	100	100	
		実績(見込)	100	100	100			
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
	活動指標	大規模改修学校数	校	目標値			1	1
		実績(見込)				1		
	算出根拠等			達成率(%)			100	
			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	・工事の内容を精査し必要最小限の工事内容にすることにより、コスト削減を図る。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況		・経年による老朽化状況を把握し、校舎の非構造部材補強を含めた学校整備計画を策定する。
次年度の実施方針	担当課評価	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討 ・施設の状況に応じた改修を順次実施する。
	二次評価	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討 (担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	28,960	97,599	158,030	193,687
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	312	1,060	1,725	2,114
	受益者	市民	(B)	92,861	92,097	91,605	91,605

5 予算編成(Action2)

事業内容	国府小学校大規模改修 三枝小学校大規模改修工事のための設計業務委託	要求のポイント	事業実施の課題
------	--------------------------------------	---------	---------

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		158,030	193,687	35,657	184,030	184,030	・積算内容を精査 -老朽化を考慮し改修順位を見直し、本郷小学校大規模改修設計費を計上	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金	34,240	40,415	6,175	40,415	40,415		
	県支出金	2,000	3,000	1,000	3,000	3,000		
	その他			0				
	一般財源	121,790	150,272	28,482	140,615	140,615		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	93100	中学校管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約
				款	9	教育費		基本分野	3	教育・文化	実施計画事業	小中学校管理事業	
担当課	教育委員会事務局 教育総務課			項	3	中学校費		分野	1	学校教育	H27実施計画額	千円	
				目	1	学校管理費		施策概要	4	学びのセーフティネットの構築			
		内線	2360										

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市内中学校生徒	どうしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設や環境衛生設備を適切に維持管理し、安全、安心で快適な教育環境を確保する。 生徒の健診や学校の衛生管理等により教育環境を整備 生徒が安全で安心して教育を受けることができる教育環境を創出するため、学校施設環境の保全を行う。 	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 中学校の運営及び学校施設の適切な維持・管理 内科医・歯科医・薬剤師を委嘱し、生徒の健康診断や健康管理、学校の衛生管理等を実施 学校設備、施設等の管理点検及び学校内外の防犯・防災点検を行う 学校の各種施設や設備の破損箇所の修繕及び学校備品や教材の製作等を行う
	対象者数	2,893 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績								
<ul style="list-style-type: none"> 宮中学校グラウンド排水路改修、久々野中学校グラウンド等排水路改修 生徒の木製机・椅子購入 30セット 嘱託医による生徒の健康診断を実施・感染症・疾病予防に関する嘱託医等からの指導助言を随時受けながら学校の衛生管理を実施 学校用務職員による学校施設等の修繕 								
成果面	活動指標	学校数	校	目標値	12	12	12	12
		実績(見込)	12	12	12			
	算出根拠等		達成率(%)	100	100	100		
	活動指標	生徒数	人	目標値	2,833	2,883	2,893	2,849
		実績(見込)	2,833	2,883	2,893			
	算出根拠等		達成率(%)	100	100	100		
	活動指標	用務員配置数	人	目標値	15	15	15	15
		実績(見込)	15	15	15			
	算出根拠等		達成率(%)	100	100	100		
				目標値				
		実績(見込)						
	算出根拠等		達成率(%)					
			目標値					
	実績(見込)							
算出根拠等		達成率(%)						
			目標値					
	実績(見込)							
算出根拠等		達成率(%)						
補足								

3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き学校維持管理の経費に対する省力化に向けた取り組みを進める。 修繕等を専門業者に安易に依頼せず、学校用務職員自らが施工するなど、学校施設の維持管理費の削減が図られている。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ、水道光熱費の節減に向けた取り組みを進める。 安全・安心な教育環境の確保のため内科医・歯科医・薬剤師を委嘱し、生徒の健康診断や健康管理、学校の衛生管理等を実施している。 生徒が安全で安心して学校生活を過ごすことができるよう、引き続き事業を進める。 		
次年度の実施方針	担当課	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善	
		<input type="radio"/> 拡大	学校施設や環境衛生設備を適切に維持管理し、安全、安心で快適な教育環境を確保できるように事業を進める。
		<input type="radio"/> 縮小	生徒の健診や学校の衛生管理等により教育環境を整備できるよう事業を進める。
		<input type="radio"/> 廃止検討	生徒が、安全で安心して学校生活を過ごすことができるよう、事業を進める。
	二次評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善	
		<input type="radio"/> 拡大	用務職員を活用した学校修繕を積極的に行う必要がある。
		<input type="radio"/> 縮小	
		<input type="radio"/> 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額
	歳出(千円)		(A)	127,417	131,749	123,018
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	44,976	45,699	42,523
	受益者	生徒(5月1日現在)	(B)	2,833	2,883	2,893

5 予算編成(Action2)

事業内容	中学校の運営及び学校設備の維持・管理 生徒の健康診断や健康管理、学校の衛生管理を委託 学校施設の維持修繕など	要求のポイント	生徒の木製机・椅子購入、放送設備の改修 学校用務職員で営繕作業を実施し、コストの縮減を図る。	事業実施の課題	老朽化した施設を計画的に修繕する必要がある。
------	--	---------	---	---------	------------------------

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		123,018	149,800	26,782	123,030	123,030	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	300	540	240	500	500		
	その他	1,400	1,080	△320	1,400	1,400		
	一般財源	121,318	148,180	26,862	121,130	121,130		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	93250	通学路照明灯整備事業費	予 算	会計	1	一般会計	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	教育振興基本計画		市長公約
	科目			9	教育費	3		教育・文化	実施計画事業		通学路照明灯整備事業		
担当課	教育委員会事務局 教育総務課		内線 2347	項	3	中学校費	分野	1	学校教育	H27実施計画額	千円		
	目	2		教育振興費	4	学びのセーフティネットの構築							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	中学校生徒	どうしたいのか (意図)	・中学生の下校時における安全確保のため、暗い通学路への照明灯設置を行い、安全で安心な通学路保持を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・学校・PTA・町内会等の要望により、設置の必要箇所の把握及び調査を行い、必要性の優先順位の高いところから順次設置すると同時に、不必要なものは撤去する。
	対象者数	2,893 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績		・県域統合型GISを活用した一元管理システムにより未設置箇所の早急な把握、設置を進めた。 ・新設の際、ポールから設置するのではなく、極力既設の電柱に取り付けた。						
成果 指標	活動指標	通学路照明灯の設置数	箇所	目標値	60	94	10	0
		実績(見込)	25	87	10			
	算出根拠等		達成率(%)	42	93	100		
	生徒数	人	目標値	2,833	2,809	2,893	2,893	
			実績(見込)	2,833	2,809	2,893		
	算出根拠等		達成率(%)	100	100	100		
	算出根拠等	目標値						
		実績(見込)						
	算出根拠等		達成率(%)					
	算出根拠等	目標値						
		実績(見込)						
	算出根拠等		達成率(%)					
算出根拠等	目標値							
	実績(見込)							
算出根拠等		達成率(%)						
補足								

3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 把握した通学路照明灯の未設置箇所へ早急に設置する必要がある。 生徒の入学や卒業に伴う変動(延長または廃止)に対し、安全面を考慮のうえ長期的見地から通学路に見直しをかける必要がある。 通学路で無くなり、今後もしばらくの間通学路とならない照明灯は町内会等と協議の上、譲渡または廃止移設する必要がある。 農地隣接箇所では、LED照明灯の新設や付け替えを進め、光害を軽減する必要がある。 電柱及び電線の設置できない箇所へは、太陽光発電型の照明灯を導入する必要がある。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 通学路照明灯の未設置箇所の把握及び設置を進める。 生徒の入学や卒業に伴う変動(延長または廃止)に対し、安全面を考慮のうえ長期的見地から通学路に見直しをかける。 町内会等と協議の上、指定通学路外の通学路照明灯について譲渡または廃止移設を進める。 	
次年度の 実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の入学や卒業に伴う変動(延長または廃止)に対し、安全面を考慮のうえ長期的見地から通学路に見直しをかける。 指定通学路の見直しに伴う通学路照明灯の新設、移設を進める。 町内会等と協議の上、指定通学路外の通学路照明灯について譲渡または廃止移設を進める。
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	4,542	8,889	4,200	12,504
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	1,603	3,083	1,452	4,389
	受益者	生徒数(5月1日現在)	(B)	2,833	2,883	2,893	2,849

5 予算編成(Action2)

事業内容	通学路照明灯の設置(新設・移設)、改修及び撤去工事 通学路照明灯の維持管理	要求の ポイント 新規通学路に対する通学路照明灯整備(LED灯の新設及び既設照明灯の移設) 通学路照明灯整備基準外の照明灯改修及び県又は町内会への移管・移譲 既設通学路照明灯のLED改修	事業 実施 の 課題 通学路の変更に伴う必要な照明灯を早い時期に整備する。
------	--	---	---

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		4,200	12,504	8,304	11,800	11,800	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源 内訳	国庫支出金	0	3,951	3,951	3,520	3,520		
	県支出金	0	0	0				
	その他	0	0	0				
	一般財源	4,200	8,553	4,353	8,280	8,280		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	93310	中学校大規模改修事業費	予 算	会計	1	一般会計	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	教育振興基本計画		市長公約	○高山市の次代を担う子どもたち(児童生徒)に対しては、一人ひとりの「個性・能力・創造性」を育むとともに、国際化に対応できる教育環境を整備します。
	款			9	教育費	基本分野		3	教育・文化		実施計画事業	小中学校大規模改修事業		
担当課	教育委員会事務局 教育総務課		内線	項	3	中学校費	分野	1	学校教育	H27実施計画額		千円		
	2347			目	3	学校整備費	施策概要	4	学びのセーフティネットの構築					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰が(対象)	中学校生徒、教職員及び一般市民	どうしたいのか(意図)	概要	事業の実施手法(手段)	・学校施設の改修
	対象者数	91,605 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績		・中学校屋内運動場非構造部材の補強 ・松倉中学校校舎大規模改修工事設計監理委託業務							
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27	
		耐震補強学校数	校	目標値	0	6	0	1	
			実績(見込)	0	6	0			
			算出根拠等		達成率(%)	100			
	成果指標	学校耐震化率		%	目標値	100	100	100	
					実績(見込)	100	100	100	
			算出根拠等		達成率(%)	100	100	100	
	活動指標	大規模改修学校数		校	目標値			1	1
					実績(見込)			1	
			算出根拠等		達成率(%)		100		
補足				目標値					
				実績(見込)					
		算出根拠等		達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
		算出根拠等		達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	工事の内容を精査し必要最小限の工事内容にすることにより、コスト縮減を図る。
--------------------------	---------------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況		・適正な工事内容とすることによりコスト縮減を図った。
次年度の 実施方針	○維持・改善	・施設の状況に応じた改修を順次実施する。
	拡大 縮小 廃止検討	
二次評価	○維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大 縮小 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	3,324	52,715	316,030	410,037
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	36	572	3,450	4,476
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	92,861	92,097	91,605	91,605

5 予算編成(Action2)

事業内容	松倉中学校校舎大規模改修 清見中学校校舎大規模改修工事にかかる設計業務委託	要求のポイント	事業実施の課題
------	--	---------	---------

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		316,030	410,037	94,007	347,030	347,030	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金	69,035	77,704	8,669	77,704	77,704		
	県支出金	6,000	4,000	△2,000	4,000	4,000		
	その他			0				
	一般財源	240,995	328,333	87,338	265,326	265,326		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	95300	学校給食運営事業費	予 算	会計	1	一般会計	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	教育振興基本計画		市長公約
	種別			款	9	教育費		基本分野	3		教育・文化	実施計画事業	
担当課	教育委員会事務局 教育総務課		内線 2973	項	5	保健体育費	分野	1	学校教育	H27実施計画額	千円		
	目	3		学校給食センター費	施策概要	2	豊かな心と健やかな体を育む教育の推進						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	児童、生徒等	どうしたいのか (意図)	・安全で魅力ある学校給食を実施し、児童生徒の心身の健全な発達を図る。 ・学校給食を活用した食に関する指導の実施により、食育の推進を図る。 ・衛生管理の徹底や、施設及び機械設備の機能の維持を図り、安全確実な学校給食を実施する。	概要	事業の実施 手法(手段)	・地元食材を積極的に購入使用することにより、給食の安全安心を確保し、バラエティーに富んだ献立等を給食に取り入れる。 ・施設の補修、検査等を実施し、運営を支援なく行う。 ・郷土料理や地元産品を使用した献立を提供し、それを活用した食育指導を行う。
	対象者数	7,998 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	<ul style="list-style-type: none"> ニーズの多様化のなかで献立を工夫し、児童生徒に安全で栄養バランスのとれた給食を年間1,503,797食を供給することができた。 栄養教諭等による食育授業や学校訪問、試食会での講話を実施した。 地元食材を活用するなど地産地消に努めた。 調理施設及び器具の殺菌消毒、職員便検査及び施設環境検査等を定期的に実施し、衛生管理の充実を図った。 調理関係職員への夏季研修を実施した。 本郷センターの降雪防止屋根を設置した。 給食供給のない期休業中に、老朽化した施設や機械設備の清掃、点検および修理を実施した。 						
	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
活動指標	給食供給数(年間)	食/年	目標値	1,558,255	1,539,570	1,499,055	1,479,630
	算出根拠等	供給した学校給食数	実績(見込)	1,535,230	1,503,797	1,470,600	
成果指標	食中毒等の健康被害事故が無い日	日	目標値	198	198	200	197
	算出根拠等	調理施設稼働日数、給食供給した日	実績(見込)	198	198	200	
成果指標	朝食を毎日食べる児童生徒の割合	%	目標値	100	100	100	
	算出根拠等	食生活アンケート(小学校高学年及び中学生のうちの該当者数の割合)	実績(見込)	94	94	100	
成果指標	給食の栄養価 小学生	kcal	目標値	660	640	640	640
	算出根拠等	カロリー平均値、基準値	実績(見込)	667	663	640	
成果指標	給食の栄養価 中学生	kcal	目標値	850	820	820	820
	算出根拠等	カロリー平均値、基準値	実績(見込)	839	837	820	
成果指標	突然の給食停止がない日	日	目標値	198	198	200	197
	算出根拠等	調理施設稼働日数、給食供給した日	実績(見込)	198	198	200	
補足	高山市内5センターについて、経常経費の削減に努めながら実施した。 地元産食材をより積極的に購入することにより、安全で安心な給食を提供した。 毎月の給食だよりの発行や夏休み期間を利用した給食づくり体験や親子料理教室を開催し、食への関心を高めた。						

3 分析・評価(Check)

H25決算における 分析・評価で 明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、安全で衛生的かつおいしい給食を、効率よく安定的に供給するために、必要な施設整備等について検討していく。 現有施設では物理的な制約が生じているが、調理工程の継続的な改善工夫により衛生的に調理できるようにする。 5センターとも年間を通じて、衛生面に留意して事故無く確実に給食を供給できるよう施設のメンテナンスを維持続行する。
----------------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H26対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 安定的に供給できるよう施設整備について検討していく。 前年度から引き続き、給食の供給、食育推進の課題に取り組み、これらが安定的に実施できるよう施設整備について検討していく。 現有施設で、調理工程を工夫しながら、安全で衛生的に調理を実施する。 衛生管理研修を実施し、職員の資質向上を図る。 5センターとも年間を通じて、衛生面に留意して事故無く確実に給食を供給できるよう施設のメンテナンスを維持続行する。 	
次年度の 実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・引き続き、安定的な給食提供を行うとともに食育の推進に取り組み、今後の施設整備について検討していく。
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・引き続き、安定的な給食の提供を行うとともに食育の推進に取り組み必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	154,735	166,130	172,485	206,446
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	18,386	20,115	21,247	25,812
	受益者	(B)	8,416	8,259	8,118	7,998

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食5センターの運営 調理施設等の衛生管理および維持管理 栄養教諭等による指導や郷土食や地元食材を使用することによる食育の推進 夏休み親子料理教室等や食育だよりの発行など食に関する事業の実施 	要求の ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食5センター(高山、清見、一之宮、久々野、本郷)の適正な運営 施設、機能を確保するための修繕・整備 	事業 実施 の 課題	<ul style="list-style-type: none"> 安全で衛生的かつおいしい給食を、安定的に提供する。 嗜好の変化や、アレルギー対応などニーズの多様化に沿った献立を提供する。
------	--	-------------	---	---------------------	--

事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	172,485	206,446	33,961	184,941	184,941	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	8,600	8,354	△246	7,900	7,900		
一般財源	163,885	198,092	34,207	177,041	177,041		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	95310	学校給食機器等整備事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	教育振興基本計画		市長公約
種別				款	9	教育費		基本分野	3		教育・文化	実施計画事業	
担当課	教育委員会事務局 教育総務課		内線	項	5	保健体育費	分野	1	学校教育	H27実施計画額	千円		
	2973		目	3	学校給食センター費	施策概要	2	豊かな心と健やかな体を育む教育の推進					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	児童、生徒等	どうしたいのか(意図)	安定的に給食を提供できるよう機械器具等について更新を実施していく。	概要	事業の実施手法(手段)	・給食提供用食器器具類の更新 ・調理用機械器具の更新 ・給食配送車両の更新
	対象者数	7,998 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	・真空冷却機を新規購入した。 ・学校への給食提供用の皿等を更新した。								
成果 指標	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27	
	活動 指標	給食供給数(年間)		食/年	目標値	1,558,255	1,539,570	1,499,055	1,479,630
		実績(見込)			1,535,230	1,503,797	1,470,600		
		算出根拠等			達成率(%)	99	98	98	
	成果 指標	突然の給食停止がない日		日	目標値	198	198	200	197
		実績(見込)			198	198	200		
		算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
	成果 指標				目標値				
		実績(見込)							
		算出根拠等			達成率(%)				
	成果 指標				目標値				
		実績(見込)							
算出根拠等			達成率(%)						
成果 指標				目標値					
	実績(見込)								
	算出根拠等			達成率(%)					
補足	備品購入の順位付けを適切に行うなど効果的に事業を実施している。								

3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	・安定的に給食提供するため調理機器や配送車両について、計画に沿った更新を実施していく。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	・安定的に給食提供するため現有機器について、計画的に更新あるいはメンテナンスや修繕を実施する。	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・安定的に給食提供するため、現有機器について更新を実施していく。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	10,507	6,844	16,000	15,438
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	1,248	829	1,971	1,930
	受益者	児童、生徒等	(B)	8,416	8,259	8,118	7,998

5 予算編成(Action2)

事業内容	・給食供給用器具及び調理用機械器具の更新 ・給食配送車両の更新	要求のポイント	・整備計画に基づく器具及び車両の更新	事業実施の課題	・経年使用による機械器具の劣化が増加している。
------	------------------------------------	---------	--------------------	---------	-------------------------

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		16,000	15,438	△ 562	13,000	13,000	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源 内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	16,000	15,438	△ 562	13,000	13,000		